

# 小樽運河クルーズ「安心安全な運航への取組」



2024年12月17日改定

## 1. 運航判断基準 ※運航中止の社内基準

	船種	夏期 (ホロ装着なし)	冬期 (ホロ装着あり)
① 風速	大型船 旅客定員 41名以上	平均風速 7m以上の予報	平均風速 6m以上の予報
	小型船 旅客定員 40名以下	平均風速 8m以上の予報	平均風速 7m以上の予報
② 波高	0.5m以上の予報		
③ 視程	300m以下(現場目視)		

## 2. 通信手段

### ① 業務用無線機

運航中に事務所や僚船間の連絡に使用



### ② 国際VHF無線機

他社船舶との連絡の他、緊急時には海上保安庁への連絡が可能



## 3. 救命胴衣

### ① 大人用(腰巻タイプ) 170着

落水時には水を感じし自動で浮き輪状に膨らみます



### ② 子供用(ベストタイプ) 25着

未就学児～小学生(低学年)前後



## 5. 体調管理

### ① アルコールチェック

勤務開始時に計測(運航スタッフ)



### ② 体温チェック

体調が不安定な場合に必要に応じて検温



## 6. 船舶の点検・整備

① 運航前点検 船体損傷、エンジンプロペラ、燃料残量などを点検

② 都度整備 消耗品交換の他、船体リフレッシュ作業(主に春頃)

③ 夏季終了時 冬期間稼働しない船は冬期格納整備

④ 船舶検査 法定定期検査は5年毎に、その中間の時期には中間検査を受検

(※今年度：2024年7月受検済)



## 7. 非常時想定訓練

### ① 落水者救助・曳航訓練

乗客が落水した場合、船舶が自力航行不能となった場合を想定し訓練します。

### ② 救護訓練

いざという場面での救護のしかた、AED(自動体外式除細動器)の使用方法を学びます。



## 8. 損害賠償責任保険

毎年4/1～翌年3/31で加入、4/1時点で未稼働となっている船舶は稼働開始に合わせ随時加入。 船客賠償責任保険限度額：1名あたり1億円

## 4. 救命浮環

各船1個搭載の他、乗船口に1個 計7個